

平成 27 年度森林づくり基金活用事業一般公募型

活動組織募集案内（申請前に必ずお読みください）

第 2 次募集

平成 27 年 8 月
公益社団法人京都モデルフォレスト協会

森林づくり基金活用事業は企業等からの寄付金等を府内の森林整備等に活用し、森林の公益的機能の良好な発揮とモデルフォレスト運動の推進に資する事業です。

平成 27 年度事業について、好評につき 6 月の第 1 次募集に引き継づき、今回第 2 次募集を行うことになりました。

今回の募集についても、CO₂ 吸收源対策に特化した人工林・天然林の除間伐を優先して採択することとします。

1 対象となる組織

多様な活動主体で組織する団体、森林内活動を行う NPO・ボランティア団体・グループ等、市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、民間林業事業体、京都モデルフォレスト協会。

2 対象森林

京都府豊かな緑を守る条例に基づく森林利用保全重点区域内や企業・府民等の参画のもとに行われる事業地。

3 事業実施の要件

(1) 活動組織の要件

- (ア) 代表者が定められていること。
- (イ) 京都府内に事務所を置いていていること。
- (ウ) 活動組織の運営に関する規約等を定めていること。

(2) 利用協定等

- (ア) 活動組織の代表者と森林所有者の間で下記事項を定めた協定書を締結していること。

(必要事項)

協定の締結者の住所氏名／協定の目的／協定期間／協定の対象となる森林／活動計画／その他必要な事項

- (イ) 活動組織や活動組織の構成員が森林所有者である場合には、土地の使用に関する権限が確認できるもので協定に替えることができます。

(3) その他の要件

本事業に関する要綱、運用の内容に沿って活動を行うこと。

4 事業実施の期間

事業実施の期間は交付決定通知後から平成28年3月末日までとする。

5 書類提出に当たっての注意事項

- (1) 実施計画書の提出期限は平成27年9月4日（金）までです。書類到着後、内容に関する問い合わせや修正、追加書類の提出等求める場合があります。求めに対して速やかにご対応いただけない場合は受理できませんのでご注意願います。
- (2) 実施計画書には、要綱で定める様式の他に実施方針書（別添1）を作成の上、添付すること。
- (3) 申請する森林面積は、点在する箇所ごとに最低0.1ha以上（小数点第二位以下切り捨て）必要です。
- (4) 申請する森林面積は、利用協定を締結した森林のうち、当該年度内に活動を行う箇所の面積です。
- (5) 森林面積は、森林計画図等の図面（縮尺1/5000以上）から算出してかまいません。図測出来ない場合は実測すること。
- (6) 交付金額は、千円単位（千円未満切り捨て）で申請すること。
- (7) 実績報告書には、要綱で定める様式の他に活動記録簿（別添2）、写真整理帳（別添3）及び出納簿（別添4）を作成の上、添付すること。
- (8) 活動組織で行うことが難しい作業等については、一部を森林組合などに作業委託することができます（活動全体を委託することは認められません）。
- (9) 1活動組織当たりの単年度の交付額の上限は100万円です。

6 事業結果の報告

事業実施者は事業完了後に開催する事業結果報告会へ参加いただき、活動内容・成果を報告していただきます。

7 その他

- (1) 審査の結果、採択・不採択については文書にて通知します。
- (2) 申請内容は、当協会及び京都府、市町村で情報を共有いたしますのでご了承ください。
- (3) 採択された活動組織・活動内容については、当協会ホームページ等に掲載いたしますのでご了承ください。
- (4) 申請、活動においては、次の①～③の資料を必ず読み、内容を把握してください。資料は当協会ホームページに掲載されています（これらは今後、改正になる可能性があります。改正時期が採択後であっても、改正内容を遵守して下さい）。
 - ①本案内資料
 - ②森林づくり基金活用事業実施要綱
 - ③森林づくり基金活用事業の運用について

8 申請書の提出先・問い合わせ先

公益社団法人京都モデルフォレスト協会

〒604-8424 京都市中京区西ノ京樋ノ口町 123 京都府林業会館 3F

TEL : 075-823-0170 (代表) FAX : 075-823-0170

メール : kyomori@kyoto-modelforest.jp

実施方針書

組織名:
実施箇所:

項目		事業実施方針や現状を記入してください。	
適正性	①基本方針 森づくりの基本方針(どのような森を作っていくのか)		
	②全体計画 全体計画及びその中の今年度事業の位置づけ		
③実施内容	施業内容、手法及びその理由		
④実施主体	事業の主体(請負等の場合の理由)		
⑤積算(単価、歩行用単価、歩掛の内訳及び適用理由 (カッコ書きで担当者を記入) 掛等)		*森林法による規制 *農地法による規制 *他の規制	
⑥合法性	実施箇所の法律等による許認可の状況		
地域性	⑦地域との協働 地域住民等との連携の取組等		
その他	⑧既存事業や他の資金の活用		

実施方針書（記載例）

組織名：〇〇〇〇

実施箇所：〇〇市●●町□□番地

項目		事業実施方針や現状を記入してください。
①基本方針	森づくりの基本方針(どのような森を作っていくのか)	・「マツタケ山の再生」を目標に、広く都市住民との交流により広葉樹の整備を実施し、人と里山との絆を取り戻すことを目標とする。 ・区域内の奥地の人工林の強度間伐により実のなる広葉樹の導入を促進し、野生鳥獣との共生を図る。
②全体計画	全体計画及びその中の今年度事業の位置づけ	・全体計画における「野鳥の森ゾーン」の整備であり、今年度は前年度に整備した作業歩道の周辺の広葉樹の除伐を実施する。 ・「収穫の森」ゾーンの整備であり、5ヶ年間で計画的に人工林の間伐を行うこととしている。
③実施内容	事業内容、手法及びその理由	・マツタケ再生に向け、広葉樹を除伐し、林内光環境を整え、アカマツ稚樹の発生を促進する。 ・強度間伐とツツジ等の低木性花木を残置することで、展望を確保し、交流スペースとしての活用を図る。
適正性	事業の主体(請負等の場合の理由)	・〇〇里山クラブ会員及び一般公募によるボランティアにより実施する。 ・大径木の伐採を伴うため、森林組合に委託する。
⑤積算(単価、歩掛の内容及び適用理由(括弧等)	使用単価、歩掛の内容及び適用理由(カッコ書きでha当たり単価を記入)	・事業内容が類似する補助事業の歩掛かりを準用、単価は三省協定及び物価版による。(195,000円/ha)
⑥合法性	実施箇所の法律等による許認可の状況	・森林法による規制 伐採雇用提出予定。 ・農地法による規制 登記簿地目は「畠」となっているが農業委員会の非農地証明あり(現況森林)。 ・その他の規制
地域性	⑦地域との協働	・当地において、毎年、地元小学校による森林環境学習が行われており、講師として参加している。
その他	⑧既存事業や他の資金の活用	・森林整備事業補助金を活用し、事業効果の早期発現を期待する。 ・他の補助金等適用無し。

(別添2)

平成27年度 森林づくり基金活用事業（活動記録）

實務管織組：

(別添3)

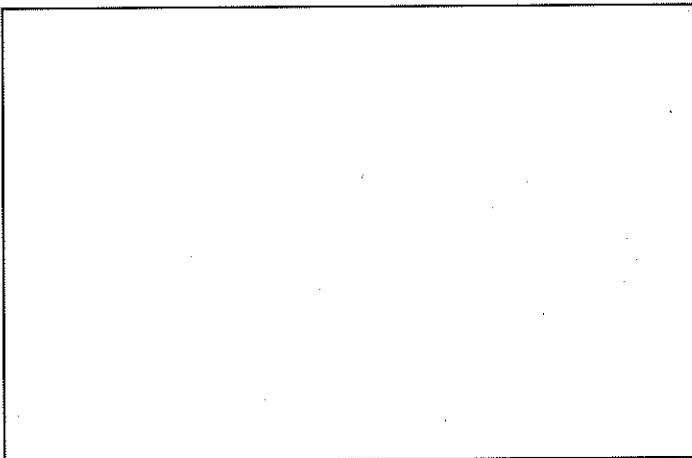
NO. _____

作業写真整理帳

組織名: _____

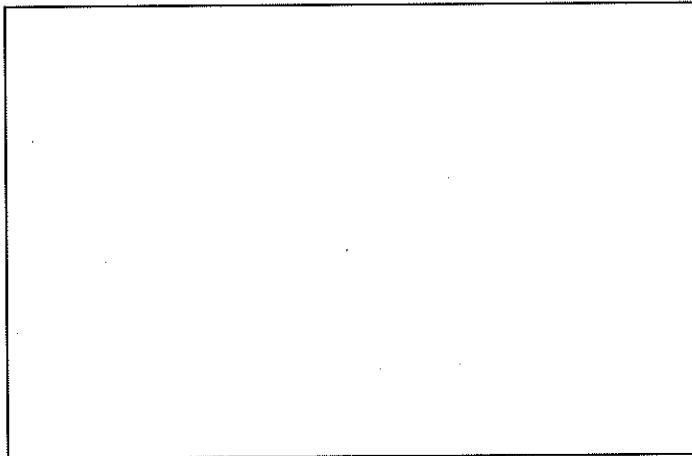
実施箇所: _____

写真番号: _____



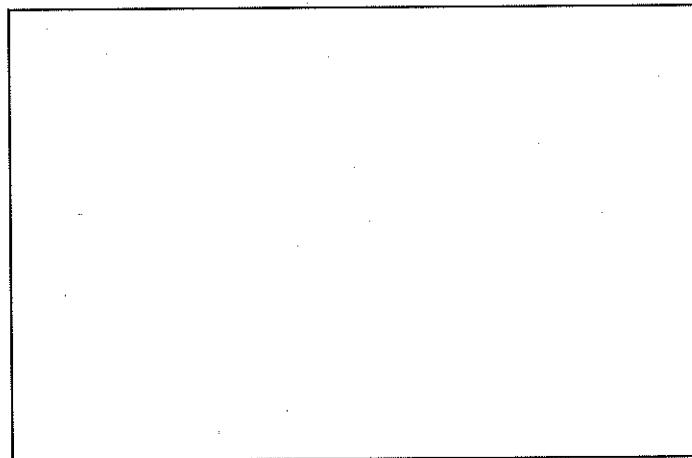
活動地 活動日・時間 参加人数 活動内容 等	
---------------------------------	--

写真番号: _____



活動地 活動日・時間 参加人数 活動内容 等	
---------------------------------	--

写真番号: _____



活動地 活動日・時間 参加人数 活動内容 等	
---------------------------------	--

※活動前、活動中(活動日ごと)、活動後について、それぞれ遠景・近景を撮影すること。

※写真番号は、【事業の種類一年月日一枝番号】とするとわかりやすい。
(例:間伐-270920-01)

別添4)

平成27年度 森林づくり基金活用事業（金銭出納簿）

名織組

实施箇所

※全事業の活動に係る支出を記載すること。(ただし対象期間内の日付の領収書があるものに限る。)